

女性の周期的リズムを簡便にとらえる新方式の計測機器
「Ran's Night (ランズナイト)」を新発売
森下仁丹(株)と業務提携により、女性健康市場を牽引！

女性健康情報システム開発のキューオーエル株式会社(本社長野県上田市・代表取締役宮島正子)は、独立行政法人科学技術振興機構平成17年度革新技術研究開発事業として3年間研究開発してきた「ウェアラブルセンサによる女性健康情報システム」を事業化し、女性特有の周期的リズムを簡便にとらえる女性用衣服内温度計「Ran's Night (ランズナイト)」を、5月24日に新発売いたします。

Ran's Nightは温度センサ2個を内蔵した装着式衣服内温度計。長さ69×51×14.4mm、重さ37g(電池2個を含む)、樹脂で手の平にすっぽり収まる卵型で、価格は12,800円(税別)。色は、マンダリンオレンジとアボカドグリーンの2色となります。

Ran's Nightを就寝時パジャマのウエストに装着していただくと、10分間隔で6時間の自動計測を行い、翌朝は計測した温度の代表値を数字で表示します。また、計測データ全てをQRコードとして表示することが可能なので、ユーザーはこれを携帯電話のバーコードリーダーで読み取り、サーバーにデータ送信/蓄積することができます。パソコンや携帯から長期グラフなどを閲覧、低温・高温の変動から女性特有の周期的なリズムをとらえ、健康管理に役立てることができるのです。

このたび、Ran's Night発売にあたって、健康維持・増進のための製品と技術を有し、日本における体温計事業のパイオニアとして知られる森下仁丹株式会社(本社大阪市・代表取締役駒村純一)と業務提携を行い、時代のニーズに対応した新しいウーマンズヘルスケア市場を創出していく予定です。潜在需要をにらみ、初年度2万台の出荷を予定しております。

これまで「基礎体温は女性の健康のパロメーター」といわれつつ、計測方法の不便さからその利用は一部の人に限られていました。初経年齢の低下と少産により、生涯月経回数は500回(むかしの女性の約10倍)にも急増しました。成人女性の3~4人に一人は女性特有の健康トラブルの予備軍といわれ、月経困難症による年間の経済的損失3800億円が指摘される中、「産みたい時に産める健康な身体づくり」も含めたウーマンズヘルスケアの大切さが叫ばれています。

当社は女性のセルフケアに有用な基礎体温に着目、昨年6月に女性健康情報サイト「Ran's Story(ランズストーリー)」を開設しました。基礎体温やココロとカラダの情報を毎日簡単に記録できるシステムを提供し、健康への関心を高め、セルフケアの重要性を認識していただくための情報交換の場ですが、やはり基礎体温の計測がネックとなりなかなか続けられないという声が寄せられています。

Ran's Nightは、こうした女性ユーザーの立場から、眠っている間の自動計測という全く新しい計測方式を採用しました。(Ran's Nightは体温計ではなく、衣服内温度計です。医療機器ではありません。)だれもが簡便に自分の身体と向き合うことができるツール、10歳~60歳のすべての女性の健康とQOLの向上を目指した計測機器です。

お問い合わせ先:

キューオーエル株式会社 担当者:宮島、北沢 TEL:0268-39-7735 FAX:0268-39-7736
会社ホームページ <http://www.QOL21.com>
Ran's Night ホームページ <http://rans-night.jp>
Ran's Story ホームページ <http://rans-story.jp>
mail: info@QOL21.com

森下仁丹株式会社 担当者:磯部、鈴木 TEL:06-6761-1131
会社ホームページ <http://www.jintan.co.jp>